



【こしまえ あやこ さん】高校2年生
●1月5日から1週間、国際交流協会主催のパラオ研修旅行に参加して貴重な経験を積んだ越前さん。将来、小学校の教師として海外で子どもたちに勉強を教え国際貢献するという夢の実現に意欲を燃やしています。

国際社会で貢献できる社会人になりたい！

国際空港を抱え世界に開かれた都市、千歳。私たちのまちは空港を軸に国際的な発展の可能性を秘めています。千歳の国際化を進める国際交流協会は、中・高校生を対象に1月5日から1週間の日程でパラオ共和国への研修旅行を行いました。越前さんはこの研修旅行に参加し、リーダーの1人として参加者13人をまとめながら貴重な経験を積んできました。

「小学生のとき、将来の進路について書かれた冊子で、JICA（国際協力機構）が派遣する青年海外協力隊でたくさん日本人が活躍していることを知りました。私も国際協力という形で人の役に立ちたいと考えました」と外国での活動に興味を持つことになったきっかけを話します。今回の研修旅行は、「一般の家庭に宿泊するホームステイで外国の生活を体験でき、また、現地で活動するJICAの活動内容を知ることができ、外国に触れる絶好の機会としたい参加することになりました」と話す越前さん。

「例えば、パラオには信号機がありません。一度設置したそうですが、ルールが浸透せず逆に事故が増えたため、外したそうです。日本ならルールを守るためにどうするかと考える自分にとって価値観が大きく変わる話でした」といいます。ホームステイなどを通じて日本と

の文化や習慣、価値観の違いを知り、世界は広いと感じたという越前さん。「初めて外国で使う英語が通用し、そのうえ短期間で相手の話す英語を理解できるようになり、自分に自信ができました」と成長を実感しています。「私の将来の目標は、小学校の教師になり経験を積んで青年海外協力隊の隊員として海外で貢献することです」と将来の姿を明確にしています。

「将来の夢や目標が見つからない方、自信がない方ほど外国に眼を向けてはどうでしょうか。新たな刺激を受けたり、何かを発見できたりするはずですよ。たくさんの方に外国を体験し視野を広げてほしい」と目を輝かせて話してくれました。

人のいる風景

SCENERY OF PEOPLE



越前

AYAKO
KOSHIMAE

文琴

さん